

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	3 地方公営企業などの経営改革	No.	50			
具体的な取組項目(小項目)	1 水道事業の経営改革の取組強化	担当課	水道局計画整備課			
改革実施項目名称(細項目)	施設規模の適正化					
現状と課題 (これまでの取組み)	平成19年度から26年度までの中長期経営計画(マスタープラン)に基づき浄配水場の統廃合を進め、26年度末には計画どおり浄水場を6箇所(統廃合)し、施設能力を440,000m ³ /日に縮小する。 さらに、平成27年度から36年度までの新・中長期経営計画において、将来推計人口に基づく水需要予測の結果を踏まえ、平成37年度における施設能力を370,000m ³ /日にまで縮小する計画とした。					
事業の目標・目的 (考えられる効果)	<p>《計画期間の目標》 新・中長期経営計画に基づき、浄配水場の施設・設備更新を進める。平成27～30年度までには主として阿賀野川浄水場施設整備事業(平成27～31年度)及び竹尾他3配水場施設整備事業(平成28～32年度)に着手、実施する。</p> <p>《事業の最終目標》 人口減少等による水需要の減少が長期的に見込まれる経営環境において、常に施設規模の適正化を追求することにより、事業運営の一層の効率化を図っていくことが必須である。</p>					
取組の内容	①浄配水場の施設・設備更新において、計画施設能力に適合した各施設・設備のダウンサイジングを図る。 ②新・中長期経営計画期間後の長期的な施設規模の適正化及びそのための施設整備について継続して検討を進める。					
改革実施概要	現状 (平成26年度)	平成27年度		平成28年度		中間目標/ 29年度以降
		計画	実績	計画	実績	
取組工程 (具体的な内容)	浄配水場の統廃合を完了し、施設能力を440,000m ³ /日に縮小	①阿賀野川浄水場施設整備事業に着手 ②長期的な施設規模の適正化について検討を継続	①阿賀野川浄水場施設整備事業に着手 ②長期的な施設規模の適正化について検討を実施	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続 ・竹尾他3配水場施設整備事業に着手 ②長期的な施設規模の適正化について検討を継続	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続 ・竹尾他3配水場施設整備事業に着手 ②長期的な施設規模の適正化について検討を実施	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続 ・竹尾他3配水場施設整備事業を継続 ②長期的な施設規模の適正化について検討を継続
指標						

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度	
	取組の状況	上半期 (4～9月)	①阿賀野川浄水場施設整備事業に着手 ②長期的な施設規模の適正化の検討	予定通り 進捗	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続、配水場施設整備事業に着手 ②長期的な施設規模の適正化の検討	予定通り 進捗

※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。

年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度	
	取組工程、指標に対する評価		①阿賀野川浄水場施設整備事業のポンプ場築造工事を発注し、予定通り工事に着手しました。(平成29年度完了予定) ②水需要を踏まえた施設規模の適正化を検討しました。	B	①阿賀野川浄水場施設整備事業、配水場施設整備事業ともに、予定通りの工事の発注、施工を実施しました。 ②水需要を踏まえた施設規模の適正化を検討しました。	B
	課題、今後の方針、改善事項など		①工事進捗状況を的確に把握し確実な施工管理を行うとともに、次年度以降の工事発注準備を進める。 ②施設規模の適正化の検討及びアセットマネジメントを継続的に実施していく。		①工事進捗状況を的確に把握し確実な施工管理を行うとともに、次年度以降の工事発注準備を進める。 ②施設規模の適正化の検討及びアセットマネジメントを継続的に実施していく。	

計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価		平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		①阿賀野川浄水場施設整備事業、配水場施設整備事業ともに、予定通りの工事の発注、施工を実施しました。 ②水需要を踏まえた施設規模の適正化を検討しました。	B	①工事進捗状況を的確に把握し確実な施工管理を行うとともに、次年度以降の工事発注準備を進める。 ②施設規模の適正化の検討及びアセットマネジメントを継続的に実施していく。
	課題、今後の方針、改善事項など		①工事進捗状況を的確に把握し確実な施工管理を行うとともに、次年度以降の工事発注準備を進める。 ②施設規模の適正化の検討及びアセットマネジメントを継続的に実施していく。		①工事進捗状況を的確に把握し確実な施工管理を行うとともに、次年度以降の工事発注準備を進める。 ②施設規模の適正化の検討及びアセットマネジメントを継続的に実施していく。

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	3 地方公営企業などの経営改革	No.	50				
具体的な取組項目(小項目)	1 水道事業の経営改革の取組強化	担当課	水道局計画整備課				
改革実施項目名称(細項目)	施設規模の適正化						
現状と課題 (これまでの取組み)	平成19年度から26年度までの中長期経営計画(マスタープラン)に基づき浄配水場の統廃合を進め、26年度末には計画どおり浄水場を6箇所(統廃合)し、施設能力を440,000m ³ /日に縮小する。 さらに、平成27年度から36年度までの新・中長期経営計画において、将来推計人口に基づく水需要予測の結果を踏まえ、平成37年度における施設能力を370,000m ³ /日にまで縮小する計画とした。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	<p>《計画期間の目標》 新・中長期経営計画に基づき、浄配水場の施設・設備更新を進める。平成27～30年度までには主として阿賀野川浄水場施設整備事業(平成27～31年度)及び竹尾他3配水場施設整備事業(平成28～32年度)に着手、実施する。</p> <p>《事業の最終目標》 人口減少等による水需要の減少が長期的に見込まれる経営環境において、常に施設規模の適正化を追求することにより、事業運営の一層の効率化を図っていくことが必須である。</p>						
取組の内容	①浄配水場の施設・設備更新において、計画施設能力に適合した各施設・設備のダウンサイジングを図る。 ②新・中長期経営計画期間後の長期的な施設規模の適正化及びそのための施設整備について継続して検討を進める。						
改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成29年度	平成30年度	最終目標/ 31年度以降		
			計画	実績		計画	実績
		浄配水場の統廃合を完了し、施設能力を440,000m ³ /日に縮小	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続 ・竹尾他3配水場施設整備事業を継続 ②長期的な施設規模の適正化について検討を継続	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続 ・竹尾他3配水場施設整備事業を継続 ②長期的な施設規模の適正化について検討を実施	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続 ・竹尾他3配水場施設整備事業を継続 ②長期的な施設規模の適正化について検討を継続	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続 ・竹尾他3配水場施設整備事業を継続 ②長期的な施設規模の適正化について検討を実施	水需要に応じた施設規模の適正化による事業運営の効率化
指標							

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成29年度	平成30年度
	取組の状況	上半期 (4～9月)	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続、配水場施設整備事業を継続 ②長期的な施設規模の適正化の検討 予定通り進捗	①阿賀野川浄水場施設整備事業を継続、配水場施設整備事業を継続 ②長期的な施設規模の適正化の検討 予定通り進捗

年度評価	(年度終了後に実施)		平成29年度	平成30年度
	取組工程、指標に対する評価		①阿賀野川浄水場施設整備事業のポンプ場築造工事が予定通りに完了しました。 ②水需要を踏まえた施設規模の適正化を検討しました。 B	①阿賀野川浄水場施設整備事業、配水場施設整備事業ともに予定通りの工事の発注、施工を実施した。 ②水需要を踏まえた施設規模の適正化を検討した。 B
	課題、今後の方針、改善事項など		①工事進捗状況を的確に把握し確実な施工管理を行うとともに、次年度以降の工事発注準備を進める。 ②施設規模の適正化の検討及びアセットマネジメントを継続的に実施していく。	①工事進捗状況を的確に把握し確実な施工管理を行うとともに、次年度以降の工事発注準備を進める。 ②施設規模の適正化の検討及びアセットマネジメントを継続的に実施していく。

計画期間の評価	計画期間の評価		平成31年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		①阿賀野川浄水場施設整備事業、配水場施設整備事業ともに、予定通りの工事の発注、施工を実施した。 ②水需要を踏まえた施設規模の適正化を検討した。 B
	課題、今後の方針、改善事項など		①工事進捗状況を的確に把握し確実な施工管理を行うとともに、次年度以降の工事発注準備を進める。 ②施設規模の適正化の検討及びアセットマネジメントを継続的に実施していく。